

丸投げか！指定管理者制度、 現在31施設・管理は

市民と歩む会 村田隆男

質問↓市総合斎場の黒煙問題など、迷惑施設は指定管理者制度で委託すべきでない。市が直接運営すべきである。地元との協定は最初の「協議確認書」が原本であり、現状の対応は。

答弁↓民間活力による市民サービスの向上を目指した。対策は地元と話し合いの場を持ち誠意をもって対応するよう指示。今後は経過も踏まえ、市長が地元と話をする。

質問↓「第2次健康つやま21」策定で審議会に酒・たばこ小売組合に参画のお願いは。両組合は全国初の「岡山県未成年者飲酒喫煙防止連絡協議会」を設立すると聞く。協賛は。

答弁↓関係機関、団体の方々に審議会に参画していただき、計画を推進したい。津山市・教育委員会としても青少年の健全育成の観点から後援したい。

質問↓鳥獣害対策で県・市町村間での補助金額の統一をすべきでは。ネズミ算で増えるヌートリアなど1年を通しての駆除対策は。猟友会も高齢、後継者育成は。



答弁↓関係する会議等で統一が可能か協議したい。捕獲を強化するため班長会議等に要請したい。育成・確保に努める。

子育ての責任は保護者に

市民と歩む会 河本英敏



質問↓現代社会は、世代に関係なく問題があると他人や学校、行政などと人のせいにする風潮が蔓延している。子育ての第一義的

責任は保護者にある。だが現実には首を傾げなくなる親を見かける。「やさしさ、たくましさ」を持った津山の未来を担う子どもを健やかに育てるため、市民が改めて教育の大切さを考え、親にどのような意識を持ってもらいたいのか、市長の思いは。

答弁↓第一義的には父母、保護者であり、行政は支援をするもので、親が責任と愛情を持って育てる事が当然である。

質問↓自分たちでしなければいけないことは自分たちで、こうした意識を持った市民に育てることが必要では。市民の意識を高め、人づくりやまちづくりへ活かす視点を持った「生涯学習」の必要性について、教育長のお考えは。

答弁↓生涯学習によって、一人ひとりの自己の能力と人格を高め、どう生かしていくかが重要。「つなぐ力を育む」を基本理念とし、学びの成果を広く社会の中に活かすことを目指している。

信義より土地代がほしい！ じゃあどうなのか！

新政クラブ 秋久憲司

質問↓社会福祉法人に市の土地を無償で使ってもらい、有効に活用してもらっている。新たに賃借料や土地の買取りを求めているが、これまでの経過からして行政自ら信義に反するのではないのか。権利の行使や義務の履行は、お互いに相手の信頼や期待を裏切らないように誠実に行わなければならないというのが法理だ。

答弁↓学校用地などの跡地に、地元ニーズに応じて6保育園が設置され、質の高い保育を行っていただいている。特別養護老人ホームは旧久米町が土地の無償貸与を条件に誘致を行った1施設があり、地域福祉の向上に貢献されている。社会福祉法人は、本来行政が取り組むべき事務事業を長年にわたり担っていただいており、今後も担っていただきたい。貸付料の算定や払下げ金額について再検討する。



質問↓社会福祉法人は土地の所有に関心も執着もない。地域や行政の役に立ちたいという福祉の心だけで、それに先代の市長や町長が共感したのでは。

答弁↓そのことも含め再検討する。